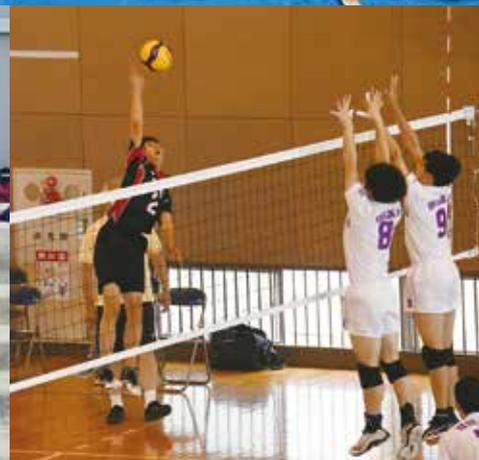


笛吹市 議会だより

令和4年10月24日発行

2022

Vol.72



会期日程・議会日誌 ② 質疑および代表質問 ⑦

提出案件一覧表 ③ 質疑および一般質問 ⑱

決算に対する監査意見 ④ 委員会レポート ⑳

令和3年度決算状況 ⑤ 市民リレートーク/編集後記 ㉔

9月議会・会期日程

8月29日(月) 議会運営委員会
全員協議会

9月5日(月)

開会

●本会議

・会議録署名議員の指名

・会期の決定

・市長行政報告

・決算審査報告

・提出議案の説明

・追加議案の説明

・質疑・討論・採決

9月13日(火)

●本会議 質疑および代表質問

9月14日(水)

●本会議 質疑および一般質問・
委員会付託

9月15日(木)

●本会議 質疑および一般質問

(予備日)

9月16日(金) 20日(火)

●各常任委員会(付託事件審査)

9月21日(水) 26日(月)

●常任委員会(決算認定および付託
事件審査)

9月30日(金)

●本会議

・議会運営委員会

・全員協議会

・委員会審査報告

・追加議案の説明

・委員会付託

・討論・採決

●閉会

議会日誌 GIKAI diary

6月 June

2日 議長経験者の会総会

3日 議会運営委員会、全員協議会、広報編集委員会

4日 第1回定例会本会議(質疑及び一般質問・付託)

10日 質問通告確認・許可

19~20日 消費拡大キャンペーン(東京大田市場)

21日 第2回定例会本会議(一般質問・付託)

22日 第2回定例会本会議(一般質問)

23~24日 議会常任委員会

29日 議会運営委員会、全員協議会

第2回定例会本会議、議会広報編集委員

7月 July

1~2日 消費拡大キャンペーン(大阪本場市場)

14日 消費拡大キャンペーン(東京大田市場)

26日 議会全員協議会

8月 August

22日 質疑・質問受付

29日 議会運営委員会・全員協議会

12月定例議会を傍聴してみませんか!

議会運営内容が確定後、市ホームページ上で会期日程・質問内容(表題)を公開しております。

令和4年第4回定例会本会議の日程(予定)

12月 2日(金) 午後1時30分~ 市長行政報告・提出議案説明

12日(月) 午前10時~ 議案に対する質疑及び一般質問・付託

13日(火) 午前10時~ 議案に対する質疑及び一般質問(予備日)

20日(火) 午後1時30分~ 各委員会の審査報告・討論・採決

※日程等に変更がある場合もあります。お気軽にお越しください。

※現在、新型コロナウイルス感染症対策として傍聴席(定員42名)を約半数にさせていただいております。

※常任委員会も傍聴可能です。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

※NNS・甲府CATV(10チャンネル)で、市議会の録画中継が見られます。

お知らせ

・八代庁舎(1階ロビー)のモニターで議会中継をご覧いただけます。

・市ホームページにて過去の代表質問、一般質問の動画をご覧いただけます。

令和4年9月定例議会提出案件一覧表

○賛成 ●反対
 ◎賛成討論 Ⓣ反対討論
 (保坂利定議長を除く)

種別	案件名	笛新会					清心会			誠和会	公明党	笛政クラブ	日本共産党	無党派		結果							
		海野利比古	保坂利定	神宮司正人	荻野謙一	神澤敏美	武川則幸	落合俊美	山田宏司	河野正博	小林始	中村正彦	渡辺清美	中川秀哉	前島敏彦		古屋始芳	渡辺正秀	河野智子	野澤今朝幸	岡由子		
報告	令和3年度笛吹市財政健全化判断比率及び公営企業の資金不足比率の報告	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決		
条例制定改正	・ 笛吹市職員の育児休業等に関する条例の一部改正	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決		
	・ 笛吹市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決		
	・ 笛吹市過疎対策のための固定資産税の免除に関する条例の一部改正	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	可決		
	・ 笛吹市立保育所条例の一部改正	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決		
令和4年度補正予算	・ 一般会計（第5号）																						
	・ 国民健康保険特別会計（第2号）																						
	・ 国民健康保険特別会計（第2号）																						
	・ 介護保険特別会計（第2号）																						
	・ 介護サービス特別会計（第1号）																						
	・ 後期高齢者医療特別会計（第2号）																						
	・ 農業集落排水特別会計（第2号）																						
	・ 境川観光交流センター特別会計（第1号）																						
	・ 森林経営管理特別会計（第1号）																						
	・ 黒駒山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計（第1号）	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	・ 大積寺山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計（第1号）																						
	・ 稲山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計（第1号）																						
	・ 牛ヶ額恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計（第1号）																						
	・ 大口山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計（第1号）																						
・ 崩山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計（第1号）																							
・ 春日山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計（第1号）																							
・ 名所山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計（第1号）																							
・ 兜山外五山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計（第1号）																							
・ 一般会計補正予算（第6号）																							
令和3年度決算認定	・ 一般会計歳入歳出	○		○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	◎	●	○	○	認定		
	・ 国民健康保険特別会計歳入歳出	○		○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	◎	○	○	認定	
	・ 介護保険特別会計歳入歳出	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	認定	
	・ 介護サービス特別会計歳入歳出	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定	
	・ 後期高齢者医療特別会計歳入歳出	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	認定
	・ 農業集落排水特別会計歳入歳出																						
	・ 境川観光交流センター特別会計歳入歳出																						
	・ 森林経営管理特別会計歳入歳出																						
	・ 黒駒山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計歳入歳出																						
	・ 大積寺山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計歳入歳出																						
・ 稲山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計歳入歳出																							
・ 牛ヶ額恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計歳入歳出																							
・ 大口山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計歳入歳出	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定		
・ 崩山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計歳入歳出																							
・ 名所山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計歳入歳出																							
・ 春日山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計歳入歳出																							
・ 兜山外五山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計歳入歳出																							
・ 水道事業会計																							
・ 市営春日居地区温泉給湯事業会計																							
・ 公共下水道事業会計																							
・ 簡易水道事業会計	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	認定	
その他	・ 普通財産の譲与																						
	・ 動産の取得（浅川中学校備品購入）																						
	・ 動産の取得（大型水槽付消防ポンプ自動車購入（明許））	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	・ 市道認定																						
人事	・ 市道廃止																						
	・ 人権擁護委員の候補者の推薦	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	・ 固定資産評価審査委員会委員の選任																						
	・ 監査委員の選任	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意	
	・ 公平委員会委員の選任																						

令和3年度決算に対する監査意見

代表監査委員 横山祥子

令和3年度の一般会計・特別会計
決算および水道事業会計、春日居地
区温泉給湯事業会計、公共下水道事
業会計、簡易水道事業会計等につい
て、審査に付された決算書および提
出された審査資料に基づき、審査を
執行した結果、それぞれ関係法令に
準拠して作成されており、決算計数
はいずれも関係帳簿、証ひょう書類
と符合し、かつ正確であると認めら
れた。また、決算の内容、予算執行
についても適正妥当であると認めら
れた。

2、危機管理体制の確立
3、戦略的な観光施策の実施

(国民健康保険特別会計)

滞納世帯に対しては、明確な基準
を設け適正に対応し、収入未済額が
縮減されるよう、より一層、徴収の
強化をお願いする。

(介護保険特別会計)

介護保険事業の安定継続のため、
収納率向上と不納欠損額の縮減に努
められたい。

(介護サービス特別会計)

事業成果の検証を怠ることなく、
常に利用者に適したサービスの提供
に努め、保険料の上昇を防ぐ取り組
みをお願いする。

(後期高齢者医療特別会計)

保険料は制度を支える重要な財源
であり、滞納縮減に向けた更なる努
力をお願いする。

(農業集落排水特別会計)

施設等の維持管理、起債の償還が
歳出の主なものだが、未収金は公平
性の面からも収納対策をお願いする。

(境川観光交流センター特別会計)

新型コロナウイルス感染拡大防止

対策を十分に行い、利用者定着と新
規利用者の獲得を目指し、利用状況
の検証と運営方法の見直しを適宜行
うことを望む。

(森林経営管理特別会計)

事業を円滑に進め、災害防止や地
球温暖化防止などのため、森林の公
益的機能の適正な管理を望む。

(財産区管理会、特別会計)

財産区の管理体制は、構成員の高
齢化が進み管理が難しい状況だが、
貴重な資源の保護・育成・災害対処
も重要なため、管理体制の充実も望
む。

(財産に関する調査)

基金運用の安全性確保のため、金
融機関の経営状況等の信用格付情報
を入手し、慎重な運用に心掛け、財
産増加と適正な管理が行われている。

(基金運用状況に関する調査)

土地開発基金の運用状況は、規程
に基づき適正な管理が行われている。

(水道事業会計)

水道事業の業務実績は、給水世帯
数が前年度比で増となっており、総
配水量と有収水量は前年度比で減と
なっており、依然として厳しい経営

状況にある。実質的な収益の向上と
安定経営に向け努力し、将来的な人
口減社会を見据え、公営企業として
健全な事業経営の遂行を望む。

(春日居地区温泉給湯事業会計)

温泉給湯事業は収益増が見込めな
い中、施設の維持管理に向けた事業
費用の増加も予想されるため、将来
を見据えた事業経営の遂行を望む。

(下水道事業会計)

企業債残高が120億円余あり、
決算額の大きな割合を占めている。
一般会計からの基準外繰入金に依存
している現状である。業務の改善、
合理化等による経費の削減に努め、
公営企業として持続可能な事業経営
の遂行を望む。

(簡易水道事業会計)

供給単価の適正化、上水道料金と
の公平性について引き続き研究を行
い、将来を見据えた事業経営の遂行
を望む。

(財政健全化比率等)

今後も健全な財政基盤の確立のた
め、歳入と歳出のバランスを図りな
がら、長期的な視野に立った財政運
営が推進されるよう望む。

(一般会計)

令和3年度の決算状況は、市税の
減少の中で、地方債の返済や、扶助
費、補助費、人件費、物件費など法
令や性質上から、任意に削ることが
困難な経常的費用が高い比率を占め
ている。このことから厳しい財政
状況が今後も予想されるため、限ら
れた財源で最大の効果が得られるよ
う、努力することを望む。

持続可能な行財政運営に向け、地
方債の抑制、新たな歳入の確保、効
率的・効果的な行政運営のための事
務事業の検証・見直し、財政計画に
基づいた市債管理と、的確な財政見
通しのもと、市政推進を望む。

1、事務処理の適正化

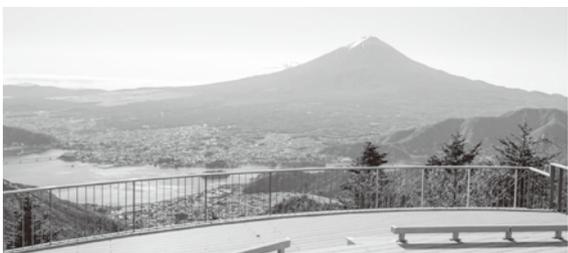
令和3年度一般会計決算

歳入総額 429億3,340万円

歳出総額 404億5,581万円

令和3年度決算 おもな使いみち

新道峠展望台整備事業 7,326万円



ふるさと納税事業 10億7,311万円



新型コロナウイルス感染症予防接種事業
5億391万円



せん孔細菌病防除対策事業
8,084万円

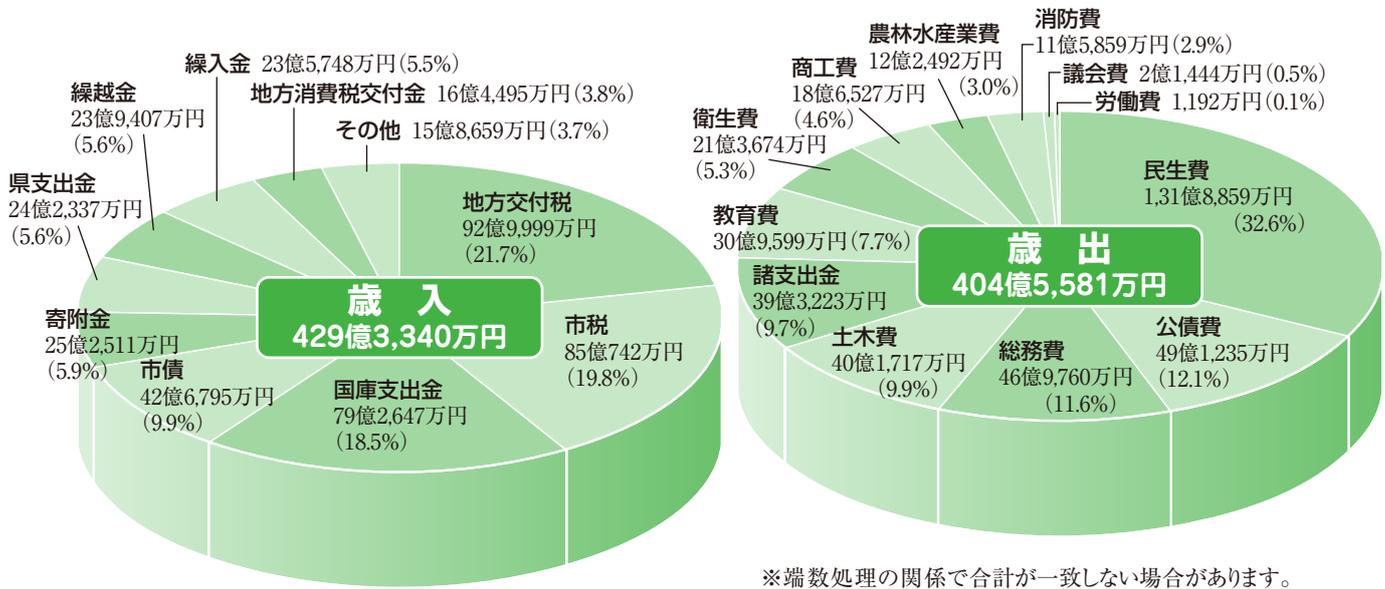


防災体制整備事業 3,780万円



ハートフルタウン笛吹!商品券事業
6億5,362万円





※端数処理の関係で合計が一致しない場合があります。

歳入

- | | |
|----------|--|
| 地方交付税 | ☆国が所得税、法人税などの国税の一定割合を市の財政力に応じて交付するもの |
| 市税 | ☆市民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税など |
| 国庫支出金 | ☆国から交付される補助金など |
| 市債 | ☆道路や施設などを整備するための市の借金 |
| 県支出金 | ☆県から交付される補助金など |
| 地方消費税交付金 | ☆県が徴収した地方消費税の2分の1に相当する額を政令に基づき市に交付するもの |
| その他 | ☆財産収入、寄附金など |

歳出

- | | |
|--------|---------------------------------------|
| 民生費 | ☆老人福祉、児童福祉、障害者福祉など |
| 公債費 | ☆市債を返すための費用 |
| 総務費 | ☆交通・防災の安全対策、広報活動、庁舎の管理など、戸籍事務、選挙などの経費 |
| 土木費 | ☆道路の新設整備や改修、河川の整備、市営住宅の管理など、公園整備や管理 |
| 諸支出金 | ☆基金への積み立て |
| 教育費 | ☆小中学校や保育所などの教育環境の整備、スポーツ・生涯学習など |
| 衛生費 | ☆子育て支援、環境衛生、疾病予防、水道などの経費 |
| 商工費 | ☆商工業の振興・観光振興 |
| 農林水産業費 | ☆農業・林業等の振興及び整備 |
| 消防費 | ☆消防、災害復旧、諸支出金 |
| 議会費 | ☆議会運営費など |
| 労働費 | ☆勤労者支援のための経費 |

特別会計・事業会計決算状況

会計名	歳入(収入)	歳出(支出)
国民健康保険特別会計	84億6,947万円	80億5,624万円
介護保険特別会計	70億2,159万円	66億158万円
介護サービス特別会計	1,248万円	885万円
後期高齢者医療特別会計	15億9,331万円	15億7,405万円
農業集落排水特別会計	7,093万円	4,166万円
笛吹市境川観光交流センター特別会計	1億867万円	8,455万円
森林経営管理特別会計	1,795万円	588万円
恩賜県有財産保護財産区管理会(9特別会計)	7,355万円	793万円
水道事業会計	収益的収入及び支出	17億2,601万円
	資本的収入及び支出	3億7,457万円
春日居地区温泉給湯事業会計	収益的収入及び支出	7,011万円
	資本的収入及び支出	0円
公共下水道事業会計	収益的収入及び支出	19億8,890万円
	資本的収入及び支出	9億7,729万円
簡易水道事業会計	収益的収入及び支出	2,664万円
	資本的収入及び支出	244万円

※収益的及び資本的収入が支出に不足する額は補てん財源で措置 ※特別会計の合計は各特別会計の端数も含めた合計となっています。

質疑および代表質問

9月定例議会では、6会派を代表して6人の議員が代表質問に立ちました。以下の記事は代表質問と答弁を要約したものです。

- 笛新会 荻野 謙一議員 …7
- 清心会 落合 俊美議員 …9
- 誠和会 小林 始議員 …11
- 公明党 渡辺 清美議員 …13
- 笛政クラブ 古屋 始芳議員 …14
- 日本共産党 河野 智子議員 …15



笛新会

荻野 謙一 議員

問 令和3年度決算は

荻野謙一議員 ①前年度と決算規模が同規模となった要因は。

- ② 新型コロナウイルス対策費の総額は。主な事業の決算額は。交付金の総額は。
- ③ 財政健全化法4指標のうち、将来負担比率が改善した要因は。
- ④ 財政構造の弾力性を維持する取り組みは。

答 コロナ対策関連等経費が増加

山下政樹市長 ①コロナ対策経費の増大、ふるさと納税寄附額の増加などが要因。②29事業37億8、841万円。「ハートフルタウン笛吹！商品券事業」が6億5、362万円。「消費喚起キャンペーン事業」が5

問 令和5年1月に基本計画を策定予定

山下市長 ①ホームページに掲載している、検討資料や議事録で、検討状況の確認が可能。②丁寧の説明して理解を得る。令和5年1月の基本計画策定を目指す。

- ③ 整備には検討中の多目的芝生グラウンドの2倍以上の面積が必要。今回は整備対象にしない。

問 国土強靱化の取り組みは

荻野議員 ①河川・道路の災害対策は。②大坪地区浸水対策の進捗状況と今後の対策は。

答 関係機関一体となり流域治水に努める

山下市長 ①渋川を含む濁川流域で、県による堤防強化工事などが開始。道路では、橋梁長寿命化計画を策定し、計画的に補強、耐震化などを進めている。

問 公共下水道整備計画と早期拡充は

荻野議員 ①住宅化、商業化が進んでいる地域の下水道整備は。②石和町富士見地域の整備計画は。

- ③ 調整池、小堤防道路645m、排水路334m

問 入札制度の運用は

荻野議員 ①ランダム係数を用いた運用は。②分離発注と一括発注の考え方は。③リース方式の契約は。

答 公平公正に実施

山下市長 ①入札当日、参加者の前で係数を設定。価格漏洩による最低制限価格の算出ができない仕組み。
②中小企業の受注機会を増やすため、原則、分離発注価格・数量・工程等により難しければ一括発注することもある。
③予算に制約がある場合でも、早期の供用開始が可能ただし、途中解約は原則できないため、慎重な検討が必要。

問 水害対策は

荻野議員 ①河川氾濫の危険性への対応は。
②防災ステーション設置要望は。

答 早期の避難開始を促す

山下市長 ①記録的短時間大雨情報や線状降水帯の発生予報を得た段階で、市の体制を整え、避難情報を発令。

②国や県への要望も含めて研究する。

問 新道峠展望台FURU-YAMAツインテラスは

荻野議員 ①送迎バスの利用状況は。
②富士山以外の山々を見られる眺望場所の整備は。
③すずらん群生地駐車場に売店や休憩所の設置は。
④すずらん群生地駐車場までの道路の拡幅は。

答 今年度は4月25日から送迎バスの運行をスタート促す

山下市長 ①8月31日までに10、769人がバスを利用。これからの時期に利用者が増加すると予想。
②すずらん群生地駐車場等の整備を含めた、ツインテラスの完成後、新たな展望場所の整備を検討。
③県の補助金を活用し、バリオトイレを整備している。売店等は、類似施設を参考にさまざまな面から検討。

④今年度、すれ違いの難しいカーブ箇所は拡幅工事を実施。直線箇所は大型バスがすれ違いのできる待避所の設計を実施。

の設計を実施。

問 世界農業遺産登録後の取り組みは

荻野議員 ①農家戸数、農業従事者の10年間の推移は。
②登録のメリットは。
③世界農業遺産登録を活用した今後の展開は。

答 農業振興と観光振興につなげる

山下市長 ①農林業センサスによると、2010年が4、525戸、7、214人。2020年が3、612戸、5、064人。
②峡東地域の認知度の向上、農産物のブランド化の促進、観光振興への好影響などが考えられる。
③農家民泊や農業体験を組み込んだツアー造成などに取り組み、農業振興と観光振興につなげていく。

問 環境推進対策は

荻野議員 ①ごみ袋手数料の軽減以降、生活系可燃ごみ排出量の増減は。
②ごみ袋手数料の内訳は。

答 事業の継続実施に努める

山下市長 ①コロナ禍では、ごみは増加する傾向にあると言われているが、前年同期と比べほぼ横ばい。
②1枚15円のうち作成費9円、販売委託料4円、消費税を除き、残りの2円弱をごみの処理費等に充当。

問 医療費増加に伴う健康対策は

荻野議員 ①国保被保険者の特定健診の受診率は。
②未受診者への対応は。
③特定健診結果を生かした医療費抑制の取り組みは。
④国保被保険者の医療費抑制の取り組みは。
⑤後期高齢者医療保険加入者の健康診査受診率は。
⑥高齢者の介護予防と健康対策は。

答 特定健診、予防教室、CMによる啓発等を実施

山下市長 ①令和3年度の受診率は44・1%。前年度に続きコロナ感染症の影響で受診率が低下。

②希望調査票が未提出の方等には個別に受診勧奨。

③医療機関の受診勧奨や特定保健指導など生活習慣病重症化予防についてさまざま取り組みを行っている。
④ジェネリック医薬品の利用促進、健診参加者へのポイント付与による記念品贈呈、生活習慣病予防教室の開催など。

⑤令和3年度の受診率は17・3%。コロナの影響で受診率が低下。
⑥百歳体操、やってみるじやん、楽笑塾、ウォーキング教室等の介護予防教室を実施。

問 生活保護者の自立は

荻野議員 ①生活保護受給者の動向は。
②令和3年度、生活保護費の内訳および国との負担割合は。
③自立支援などの取り組みは。

答 自らの力で生活できるよう自立支援に取り組む

山下市長 ①平成29年度、526世帯644人。令和



4年度8月現在、656世帯、777人。

② 扶助費総額は13億7、040万円。生活扶助が5億8、850万円。医療扶助が7億3、430万円。介護扶助が4、760万円。負担割合は国が4分の3、市が4分の1。

③ 自立には、就労の自立、日常生活の自立、社会生活の自立があり、市のケースワーカーがハローワーク等と連携し、個々の状況に適した援助方針作成や生活指導を実施。

問 子育て支援は

荻野議員 ① 出産費用の公費負担と妊産婦の費用負担は。

② 子育て家庭の経済的負担を軽減するため、出産費用の一部を市が負担する考えは。

③ 今後の子育て世代の支援策は。

答 施策の充実を図る

山下市長 ① 出産育児一時

金は、健康保険の種別の区別なく、原則一子当たり42万円を支給。超過分は妊産婦の負担。

② 国は令和5年度から出産育児一時金を増額する方針。現在、市独自の助成は考えていない。

③ 4月から市立保育園では完全給食を実施。子ども医療費助成の対象拡大時期を、令和5年度から令和4年11月に前倒し。今後も子育て支援施策の充実を図る。

問 全国学力・学習状況調査は

荻野議員 ① 調査の意義は。

② 調査結果の分析は。

答 教育指導に活用する

山下市長 ① 教育施策の検証と改善を図り、教育指導の充実に活用。

② 学力調査の結果では記述式の問題を解く力に、学習状況調査の結果では自己肯定感に関する項目に課題が見られる。調査の結果を受け、今後の教育活動の改善



③ 調査で測定できるのは学力の特定の一部。児童生徒ごとにきめ細かい指導や支援が必要。

問 学校教育に関わる

荻野議員 ① 全国・県内の

就学援助の状況は。

② 本市の就学援助の状況は。

③ 県内の学校給食無償化の状況は。

答 就学援助や令和5年3月

まで学校給食無償化実施

山下市長 ① 令和2年度の就学援助率は、公立小中学校で、全国で133万3、732人、14・5%。山梨県



清心会

落合 俊美 議員

問 令和3年度決算関係は

落合俊美議員 ① 令和3年度、特に成果があった事業は。

② 市税および国保税の収入未済額の対応は。

③ 市税及び国保税の不納欠損の事由は。

④ 市長就任後に増加した基金は。主な充当事業は。

⑤ 市長就任時の公営企業会計を含めた地方債残高と令和3年度決算との比較は。主な充当事業は。

答 市民の命を最優先に

感染防止対策を徹底

山下市長 ① コロナのワク

では、5、584人、9・8%。
② 本市は566人、就学援助率は11・6%。
③ 2市、5町、5村の12市町村で実施。
④ 現時点では考えていないが、他市の状況を踏まえ総合的に判断する。

チン接種などの感染防止対策、生活支援、事業者支援策を講じた。笛吹みんなの広場オープンングイベントの開催、新道峠ツインテラス整備、寄附額が過去最高の24億円になったふるさと納税などが成果と言える。
② 財産調査により、預金や給与、生命保険などの債権差し押さえ、動産や不動産の公売を実施し、換価代金を税へ充当。令和3年度の現年課税分の収納率は市税が99・1%、国保税が97・1%。
③ 滞納処分執行停止から

代表質問

3年経過により徴収権が消滅した場合、財産が無いなど即時消滅に該当する場合、5年時効により徴収権が消滅した場合の3つ。

④平成28年の就任時、残高が2億3、700万円のみちづくり基金は、令和3年度決算で37億99万円と大幅に増加。モモせん孔細菌病防除対策事業などに充当。公共施設整備等基金は浅川中学校改修事業などに充当。

⑤就任時の地方債残高は、690億195万円。令和3年度は596億9、065万円となり、93億1、130万円削減できた。笛吹みんなの広場整備事業、浅川中学校校舎等改修事業などに充当。

問 桃、ぶどうの盗難防止対策は

落合議員 ①盗難被害状況と推定被害額は。
②市としての盗難防止対策は。
③盗難防止のボランティア団体は。
④今後の対応は。

答 関係機関やボランティア団体と協力し取り組み

山下市長 ①被害件数は6件、被害金額は約310万円。

②6月17日に、警察、消防団、JA等と協力体制を確立し、地域巡回や看板設置、防災無線による注意喚起等を実施した。

③NPO法人山梨県地震対策四駆隊、NPO法人国際協力宮川道場が、笛吹警察署の委嘱を受け、夜間パトロールに協力している。

④面的に不審者を監視できる防犯システムの開発・導入に取り組んでいる。

問 多目的芝生グラウンド整備計画は

落合議員 ①これまでの経過は。

②要望した団体と人数は。
③整備基本計画検討委員会の設置目的は。

④検討委員会のメンバー構成は。

⑤市民との意見交換会の参加人数と意見内容は。

⑥整備に充てる財源は。

答 基本計画は令和5年1月策定を目指す

山下市長 ①15年ほど前から整備構想があったが、具体化はしなかった。市長就任後、スポーツ団体など15団体から要望書が出され、令和3年度、整備に向けた基本計画策定支援業務を予算計上した。令和4年8月31日には、検討委員会の答申を受けた。

②15団体のうち、市サッカー協会からは3、285人、市ラグビー協会1、289人、笛吹青年会議所2、500人の署名を添えた要望書が提出された。

③市民の意見聴取、必要事項の調査検討のため設置。

④学識経験者4人、スポーツ団体など7人、市職員1人。

⑤6月28日100人、7月6日72人、7月12日86人が参加。早期整備、附帯設備、スポーツ・ツーリズムなどに関して、27人から29件の意見が述べられた。

⑦今後のスケジュールは。

用しながら、ふるさと納税寄附金を積み立てたまちづくり基金を使い整備したい。

問 有料指定ごみ袋、ごみの減量化は

落合議員 ①有料指定ごみ袋の減額に伴う行政区への奨励金の変更は。

②家庭用生ごみ処理機補助金限度額のアップに伴う申請状況は。

③平成16年対比での可燃ごみ減量化は。

④運搬費を含めた可燃ごみの処理費用は。

答 さらになる排出抑制を図る

山下市長 ①現時点で変更は考えていない。

②令和2年度の85件から、昨年度は129件と1.5倍になった。

③昨年度は平成16年度と比べ、約38%削減された。

④廃棄物処理の総費用は約3億2、000万円。このうち、生活系可燃ごみに要する費用は1億3、600万円。

問 大坪地区の浸水対策事業は

落合議員 ①事業の目的は。

②令和3年までの事業費と内容は。

③令和4年度事業計画と財源内容は。

④大坪尻川改修、浚渫に関わる甲府市との協議は。

⑤調整池に近い工業団地での対策は。

⑥完成予定は。

答 排水能力の向上を図る

山下市長 ①浸水常襲地域であった同地区の排水能力の向上、笛吹川の水位上昇による逆流防止が目的。

②約8億5千万円。調整池、小堤防道路645m、排水





路334mの工事を終えている。

③南側水路の樋門整備、水路改修工事を予定。財源は地方債5、250万円、基金繰入金1、750万円。

④今年度から令和6年度にかけて、甲府市が浚渫工事を実施予定。

⑤企業立地に対する開発協議の際、流出抑制対策を講じるよう指導。

⑥調整池北側の企業立地に伴う基盤整備に合わせた事業完成を目指す。

問 藤笠地区畑地帯 総合整備事業は

落合議員 ①事業の目的は。②事業費に対する負担割合は。③平成24年度からの進捗状況は。

④計画変更の内容は。⑤藤笠地区の要望を踏まえた事業推進は。⑥事業完成年度は。

答 整備期間の延長と 整備エリアを見直す

山下市長 ①用排水施設や農道整備などを行い、作物

の生産振興および担い手の経営安定を図ることが目的。

②国が50%、県が25%、市が10%、受益者が15%。本市では受益者負担15%を含めた25%を負担。

③令和3年度までの進捗率は45%。

④令和4年度までを整備期間としているが、県は完成年度を令和8年度に延期するとともに、整備エリアを見直すため、計画変更手続きをしている。

⑤随時協議を行い、要望を踏まえ整備している。

問 連携中枢都市圏は

落合議員 ①連携中枢都市圏形成の目的は。②想定される連携事業は。③笛吹市としてのメリットは。

答 一定の圏域人口を有し 活力ある社会経済を維持

山下市長 ①一定の圏域人口を有し活力ある社会経済を維持していくことが目的。②観光分野では連携自治体ツーリズム、農業分野ではユーチューブを使ったプロ

モーションなどを検討。

③構成市町が知恵を出し合い、連携して課題に対処できること。

問 在宅寝たきり高齢者の 歯科健診は

落合議員 ①在宅寝たきり高齢者の人数は。

②歯科健診制度は。

③歯科健診の対応は。

④歯科健診の周知は。

答 介護保険サービス で対応

山下市長 ①4月1日現在、寝たきりの高齢者は96人。排せつ、食事はベッドから離れられる高齢者は730人。

②③現在、在宅寝たきり高齢者に対する歯科健診の制度はないが、介護保険の「居宅療養管理指導」で、歯科医師や歯科衛生士の自宅訪問が受けられる。

④パンフレット配布、広報やホームページで周知。

問 地域密着型介護 施設の入居状況は

落合議員 ①施設の入居基準

は。

②市内の施設数は。

③入居待ちの希望者数は。

④待機者を減らす対策は。

答 入居待機者は 343人

山下市長 ①特別養護老人ホームは要介護3以上、特定施設は要介護1以上、認知症対応型グループホームは要支援2以上で認知症と判断された方。

②特別養護老人ホーム6施設、特定施設1施設、認知症対応型グループホームが7施設。

③9月1日現在、343人。

④第8期介護保険事業計画において、令和5年度末までに定員29人の特別養護老人ホーム1カ所、定員20人の特定施設1カ所の整備を位置付けており、事業者確保のための取り組みを進めている。



誠和会

小林 始 議員

問 令和3年度決算状況は

小林始議員 ①子育て世代住宅取得補助事業は。

②浅川中学校校改修事業は。

③新道峠展望台整備事業は。

④砂原橋周辺道路整備事業の市道1・13号線の進捗状況と供用開始予定は。

⑤地区防災計画策定の成果と普及は。

⑥PayPayによる消費喚起キャンペーンの実績と成果は。

⑦空き家解体補助金交付事業の実績と執行率および成果は。

⑧笛吹市観光振興計画は令和3年度で終了した。新たな計画策定の予定は。

代表質問



消費喚起キャンペーン の決済総額は19億円

山下乡長 ①令和3年度の補助金交付件数は135件。内訳は、市外からの移住者が22件、市内アパートなどからの定住者が113件。交付額は3、965万円で、予算執行率は77・5%。
②校舎の鉄筋コンクリート躯体を強化する長寿命化改修を行い、2階建ての渡り廊下を新たに3階建てとして建て替える。災害時に避難所となる体育館に多機能トイレを含む洋式トイレを新設し、技術科棟の断熱改修や部室棟の改築工事も行う。総事業費は、令和4年度までの3年間で、約21億1、000万円で、校舎の完成は令和5年1月の予定。
③FUJIYAMAツインテラスの整備費は、1億6、529万円。令和3年7月31日から送迎バスの運行を開始。冬季閉鎖前の11月28日までに、延べ13、367人が訪れた。展望台整備や多言語案内板の設置など、決算額は7、326

万円。
④八代町側は、令和3年3月23日に、起点から約800m区間を供用開始。石和町側は、残る県道白井河原八田線交差点部の改良工事発注の準備中。令和4年度中の全線供用開始を目指す。
⑤令和3年度から3カ年をかけて一般的な地域、浸水想定区域、土砂災害警戒区域のモデル地区を選定し、計画策定を支援。マイタイムラインは、令和4年7月末に全戸配布。
⑥PayPayボーナスが30%付与される消費喚起キャンペーンは、6月から8月までの3カ月間実施。利用者延べ33万1、000人。決済総額は約19億円。事業開始前約200件であった登録店舗数は、終了時には800件以上となり、市民、事業者ともに大きな経済効果があったと考えている。
⑦補助実績は1件、執行率は20%。今年度9月時点の執行状況は、執行中のものを含めると3件、60%。

⑧コロナ感染の収束が見通せない中、昨年度は新たな計画の策定は見送った。旅行スタイルの変化などの現状を分析し、今年度にも新計画を策定する。
問 **果樹などの盗難防止対策は**
小林議員 ①果樹、野菜などの盗難被害件数と被害金額は。
②市の盗難防止対策は。
答 **関係機関と連携し取り組む**
山下乡長 ①市が把握している範囲では、件数は6件、被害金額は約310万円。
②6月17日、市議会、警察署、消防団、JA等による果実の盗難防止対策に関する連絡会議を開催し、協力体制を確認した。消防団の協力による地域の巡回、防災無線による注意喚起、看板300枚の作成・設置などに取り組んでいる。
今後は農家が設置しやすいように、低コストで導入でき、広域が監視できる盗難防止システムの一日も早

い実現に努める。
問 **世界農業遺産への取り組みは**
小林議員 ①伝統的な農業システムの継承は。
②世界農業遺産の保全と活用は。
③認定の魅力のPRは。
答 **積極的な情報発信を行う**
山下乡長 ①甲州式ぶどう棚の架設技術等の継承、人材育成、草生栽培や有機質肥料使用の促進に努める。
②保全計画に基づき、地域農業の担い手の確保や育成、農村文化の保全に努める。また観光との連携を図り、来訪者の増加につなげる。
③パンフレットやポスターを作成し、首都圏で配布。
市の海外向けSNS「ピーチンチー」に、英語、中国語、ベトナム語で掲載し、情報発信する。
問 **防災対策は**
小林議員 ①避難所設営訓練の継続実施は。

答 **重点的に取り組む**
山下乡長 ①②行政区ごとに避難所運営委員が3人選ばれ、市職員、施設管理者とともに37カ所の指定避難所を開設する訓練を実施している。
③全ての指定避難所にポータブル発電機を配備する。
④転落の危険性がある箇所を周知し、地域での安全意識を向上。早期の通行止め



措置、視線誘導標の設置に努める。

⑤個別避難計画には、要支援者台帳に記載のあった情報のほか、避難施設、避難方法および避難経路が記載される。

公共施設の

問 省エネ対策は

小林議員 ①ZEBに認定されるような公共施設づくりは。

②公共施設の省エネ化による災害時の大規模停電への対応は。

答 ゼロカーボンシティを目指す

山下乡長 ①省エネや再生可能エネルギーの利用に向け、有利な補助制度や支援方法を研究し、一層のカーボンニュートラル実現に向け取り組む。

②蓄電池の設置など、大規模停電等に備えることは有効と考える。今後も適時適切に進めていく。



公明党

渡辺 清美 議員

問 農産物の輸出促進法改正は

渡辺清美議員 法改正に対応し、本市においても輸出促進に向け、品目ごとに事業者が連携できる体制づくりや金融面での支援強化が重要。農産物のさらなる販路拡大に向け、所見を伺う。

答 輸出に関わる必要な取り組みを図る

山下乡長 令和4年5月に公布された改正輸出促進法の主な内容は、桃、ぶどうなど28の輸出品目ごとに、生産から流通、販売まで、さまざまな関係者で連携し法人を設立できるようにし、申請に基づき、国が「認定農林水産物・食品輸出促進団体」として認定する制度を創設したことなどがある。認定された団体は、国からの活動支援などを受けなが

ら、輸出先での市場調査、商談会への参加、広報宣伝による需要開拓などを行う。人口減少により国内市場の縮小が懸念される状況にある中、海外での販路開拓を促す国の取り組みは必要なことだと考える。

令和3年度、JAふえぶきが輸出した本市の桃は約172ト、ぶどうは約31トであり、本市の桃の約3%、ぶどうの1%未満でしかない。先般、米国産桃の輸入解禁要請を受けて、市と市議会は、知事に対し国産桃の輸出拡大に向けて米国の中国などへの輸出のための検疫条件の早期設定を要請した。法改正により、生産から販売までの関係者が一丸となり、オールジャパンで取り組む制度が確立され

たことで、輸出の拡大が進展するものと期待している。

問 接種証明書のコンビニ交付は

渡辺議員 新型コロナウイルス感染症予防接種証明書が、マイナンバーカードを使って、コンビニで取得できるようになった。本市の対応は。

答 周知に努める

山下乡長 ワクチンの接種券を発行した市町村の担当窓口に応用したり、マイナンバーカードを使ってスマートフォン専用アプリを利用したりすることで、無



マイナンバーを使ってマルチコピー機から取得

料で接種証明書を取得することができるとのこと。山梨県内では8月17日から、セブンイレブンでの接種証明書発行が可能となった。本市でも同店舗内に設置された端末から、マイナンバーカードを使って1通120円で取得できる。国は取得できる店舗を拡大する方針。今後市のホームページに加え、広報紙でも周知。

問 地方創生臨時交付金の活用は

渡辺議員 ガソリンや電気代、食料品などの物価高騰に対応するため、地方自治体が柔軟に活用できる国の地方創生臨時交付金が拡充された。学校のエアコン整備、肥料・飼料の購入費助成、公共料金の減免などへの活用が期待される。市の方針を伺う。

答 緊急生活支援金 給付事業等に充当

山下乡長 本市における、本年度の交付金限度額は、新型コロナウイルス感染症対策に活用する通常分6、



笛政クラブ

古屋 始芳 議員

世界農業遺産を生かす取り組みは

古屋始芳議員

①世界農業遺産認定を農産物のブランド力向上につなげる取り組みは。

②観光客の誘客につなげる取り組みは。

③地域住民が果樹農業の価値を理解し、地域に誇りや魅力を感じるような取り組みは。

SNSを活用
多言語で情報発信

山下市長

①世界農業遺産認定後、ポスターやチラシなどを作成し、市場や百貨店での宣伝に活用している。今後は、峡東地域世界農業遺産推進協議会で作成したロゴマークを出荷箱に使用するほか、世界農業遺産を構成する農村景観など、本市の果樹農業の特色をピー

定している。推進協議会と連携し、世界農業遺産に関する討論会や意見交換会の開催、小学生向けの副読本の配布、甲州式ぶどう棚の掛け方のセミナー開催を計画している。

消防団員の
処遇改善は

古屋議員

本市は「防災新時代、命を守るまちづくり」を掲げ、行政区の防災計画の策定支援、家庭のマイクイムラインの作成促進、指定避難所への備蓄倉庫の整備など積極的に施策が展開されている。一方で、地域防災の要である消防団は、

団員確保に苦労している。消防団員の処遇改善に向けた協議と改善の方向性は、

出動報酬の支給
などに取り組み

山下市長

国からの「消防団員の報酬等の基準の策定等について」の通知を受け、処遇改善に着手した。団員の年齢、勤続年数、居住地や勤務地、負担に感じる活動項目を把握するため、全

団員を対象にしてアンケート調査を実施した。県による調査も踏まえ「消防団員の定数と手当の見直し」「負担の軽減」「消防団活動のあり方」について、消防団幹部と協議を重ねてきた。階級に応じた出動報酬の支給、団員の個人口座への報酬の支払い、団員数を削減し、削減分を機別団員で補うこと、消防団運営費は市が予算化し、交付金を廃止することなど、概ね了承を得ており、細部について調整している。

果実盗難の
防止対策は

古屋議員

収穫を目前にした桃やぶどうを奪い去る果実泥棒の頻発には激しい怒りを覚える。盗難防止対策の現状と今後の取り組みは。

AIを活用したシス
テム構築に取り組み

山下市長

6月中旬に春日居町地内で発生した大規模な桃の盗難被害を受け、6月17日に笛吹市議会、警察署、消防団、農業委員会、

642万円と、原油価格・物価高騰対応に活用が限定された1億9、560万円を合わせて、2億6、202万円となっている。これまでの補正予算で、新型コロナウイルス感染症予防接種個別移動支援事業、新型コロナウイルス検査費用助成事業、物価高騰による小中学校の学校給食賄材料費の高騰分を市が負担する学校給食費公会計化事業、県の住民税非課税世帯等に対する給付金の支給に合わせ、1万5千円を上乗せする生活困窮者緊急生活支援金給付事業の4事業に、合計1億8、228万円を充当した。今定例会において、園児・小中学生の保護者負担軽減のため、令和4年10月から令和5年3月までの6カ月間、給食費を無償化するためおよび保育園などの副食賄材料費に、交付金の残額を全て充当している。今後、交付金の追加交付があった場合には、議員の提案内容についても、活用を検討したい。



J Aによる果実の盗難防止対策連絡会議を開催し、協働体制を確認した。これまでに、笛吹警察、消防団、民間団体がパトロールを行い、J Aでも警備会社に夜間パトロールを委託している。市では防災無線での注意喚起、盗難抑止のための看板300枚を作成した。県でも、農業者や農業団体が設置する防犯カメラなどの購入費用に補助金を交付する。現在、市と県内事業者や大学と共同で、AIを活用した盗難防止システム構築に取り組んでいる。来年の収穫期に、圃場で試験的に運用し、効果を確認した上で早期の本格導入を目指している。

問 温泉街の空き店舗対策は

古屋議員 温泉街の現状を見ると、古びた空き店舗の多さに暗たんたる気分になる。対策の現状は。

答 民間会社が行うリノベーション事業に協力

山下市長 創業者や創業希

望者に対し開業手続きや経営指導を行う創業支援事業を行っている。令和元年度からの3年間で28事業者が創業したが、いずれも石和温泉街以外での開業だった。現在、民間会社が地元銀行などと共同し、石和温泉街の空き店舗を活用したりノベーションを手掛けており、市も全面的に協力している。観光客だけではなく、市民にも何度も足を運んでもらえるような街づくりを行う。

問 救急搬送困難事例は

古屋議員 ①本市における救急搬送困難事例の状況は。②問題点と対策は。

答 昨年同時期と比較し件数増加

山下市長 ①本年1月から8月までの救急件数は2、549件、昨年同時期に対し391件、約18%増加した。消防庁の困難事例の報告基準である「医療機関への受入照会回数が4回以上」かつ「救急車の現場滞在時間が30分以上」となる事案

は279件、昨年同時期に対し160件、約134%増加した。②救急車の現場滞在時間が長くなることで、救急隊が全て出場している時間帯が多くなり、ほかの救急要請に対応できなくなることで、救急隊員の身体的負担の増大が課題。消防隊が出場して現場の初期対応を行った後、近隣消防本部に対応を依頼したりしている。



代表質問



日本共産党

河野 智子 議員

問 安倍元首相の国葬に反対し弔意の強制を行わないことを求める

河野智子議員 政府は国会審議もなく、法的根拠もない国葬の実施を閣議決定した。弔意の強制につながる全額国庫負担の国葬に反対する。①国・県からの国葬に関する通知は。②市職員、学校、教職員に対する弔意表明の強制は。

答 弔意の表明を強制することはない

山下市長 ①現時点では、国県からの通知は届いていない。②弔意の表明を強制することはない。

問 コロナウイルス第7波の感染状況と対応は

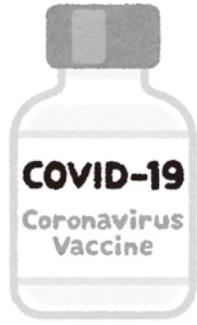
河野議員 ①7月および8月の年代別感染者数は。②発熱外来を行っている市内医療機関は。③医療機関や介護施設での定期的な検査は。④市内の介護施設におけるクラスターの発生状況は。⑤高齢者施設のコロナ対策にかかる経費の補助は。⑥感染した要介護者を宿泊療養施設で受け入れ可能とする国・県への働きかけは。⑦休園時の保護者への対応およびファミリーサポートセンターなどの情報提供は。⑧ファミリーサポートセンターの対応と協働会員は。

- ⑨新たな一時保育場所は。
- ⑩第7波の感染拡大を踏まえた反省および次の感染拡大に備えた対策は。
- ⑪医療機関のひっ迫に対する国への要望は。

答 市内の24の医療機関が発熱外来に対応

山下乡長 ①7月が1、232人、8月が2、969人。年代別は県全体の人数は公表されているが、市町村ごとの人数は公表されていない。

②県が「診療・検査医療機関」として指定し、同意が得られた医療機関を県のホームページに掲載している。



笛吹市内では24の医療機関が公表されている。

- ③医療機関では、職員および入院患者を対象に、随時PCR検査または抗原定性検査を実施している。高齢者や障がい者の入所施設では、職員が無料でPCR検査を実施できるよう、県が体制を整えており、希望する施設は週1回実施している。体調不良を自覚した場合に、速やかに検査が実施できるよう、抗原定性検査簡易キットを配布している。
- ④県からの報告によると、7月以降、峡東保健所管内の高齢者施設で2件発生した。
- ⑤令和3年度「笛吹市高齢者福祉施設等支学金給付事業」を実施し、事業者に10万円を給付した。今後については感染拡大の状況を注視し対応を検討する。
- ⑥県に働きかけている。
- ⑦休園の範囲と期間を限定し、保護者への影響が最小限になるよう対応している。保護者が預け先を確保できない場合、ファミリーサポートセンターの利用について、

て、保育所での案内や市のホームページにより情報提供している。

- ⑧昨年度の利用は2、093件で県内最多。現時点で協会員は不足していないが、依頼件数の増加やニーズが多様化していることから、協会員になるための養成講座を毎年開催し、増員に努めている。
- ⑨ファミリーサポートセンターでの対応ができない場合に備え、支援体制の研究を行う。
- ⑩オミクロン株への置き換わり、夏休みによる接触機会の増加、エアコン使用による換気不足、若年世代のワクチン接種率の低さなどが感染拡大の要因。基本的な感染対策の徹底、ワクチン接種の推進、症状に応じた適切な医療機関への受診の周知に努める。
- ⑪感染者の全数把握の見直しの動向を注視し、必要に応じて国に要望したい。

問 物価高騰に対する支援は

河野議員 ①生活困窮世帯に対する継続的な支援は。

- ②上下水道の基本料金の免除は。
- ③社会福祉施設への支援は。
- ④中小企業に対する支援は。
- ⑤来年度以降の給食費無償化は。
- ⑥国保税の均等割減免対象者を18歳まで拡大および国・県への要望は。

答 必要に応じ支援策を検討する

山下乡長 ①生活困窮者緊急生活支援金支給事業では、県負担の1万5千円に、市独自に1万5千円を上乗せして支給している。低所得者で求職活動などの一定要件を満たした世帯を対象に、最大10万円を3カ月間支給する生活困窮者自立支援金支給事業も実施している。

今後国・県の動向を注視しながら、必要な支援策を検討する。

②基本料金の免除は考えていないが、今年度予定して

いた料金改定を3年間延期している。

- ③国や県の支援策を注視し、検討していく。
- ④これまで、宿泊料金割引事業、小規模事業者支援金給付事業、消費喚起キャンペーン事業、旅客関連および観光関連事業者支援金交付事業など市独自の支援策を実施してきた。今後も、地域経済の活性化のため、必要な支援策を検討する。
- ⑤現時点で、来年度の給食費無償化を実施する考えはない。
- ⑥平成30年度の制度改革で国保の運営主体が山梨県となった。国や県に対しては軽減制度の拡充を引き続き要望していく。



9月
定例議会

市民の声

質疑および一般質問

本会議では、5人の議員が質疑および一般質問をしました。

以下は質疑・質問と答弁を要約したものです。



一般質問



渡辺正秀議員
(日本共産党)

問 多目的芝生グラウンド計画は

答 計画素案を基に検討を進める

渡辺正秀議員 ①市の署名入り素案が現時点での市の考えか。

②施設整備の目的を、スポーツ環境の改善に絞るべきでは。

③既存の施設拡充・芝生化の検討は。例えば、清流公園、花鳥の里スポーツ公園を若干拡張し芝生化は検討しないのか。

④優良農地を潰して良いのか。

土地取得難航で整備遅れないか。

返田総合政策部長 ①今後、基本計画案を基に検討し、議会での議論を経て、基本計画として考えを示す。

②多目的芝生グラウンドを誘客施策として活用することは当然と考える。

③平成27年から29年度にかけて既存施設の芝生化も検討したが、利用者から反対の声が上がり整備に至らなかった。

④優良農地の確保は重要だが、生活に関わる

施策を総合的に進める必要がある。



清流公園芝生広場

用地取得費は適切な時期に示す。

問 200億円に迫る基金の活用は

渡辺議員 ①浅川中学校改修工事の建設費・物品購入費などの上昇は。

②基金保有より有効活用すべきでは。

③インフレで生活はひっ迫、考えは。

④給食費無償化、防災対策など喫緊の課題。基金活用を求めます。

⑤既存施設の活用を検討すべきでは。

答 効果的に活用していく

返田総合政策部長 ①日銀の経済・物価情勢の展望では具体的な数値は

示されず、上昇分は見込んでいない。

②③④9月補正時点で40億1、066万円を充当し、各種基金を目的に応じ活用。社会情勢、事業目的を勘案した上で、各種基金を効果的に活用していく。

⑤既存施設の活用も検討した上で、市民ニーズに対応した施設整備を計画的に進める。



河野正博議員
(清心会)

問 子供すこやか部の業務全般は

答 保護者の育児負担の軽減など

河野正博議員 ①重点施策は。

②令和3年度の歳出決算額は。

③令和4年度の歳出予算配分は。

④公立保育所の基本的方針、直近5年の具体的計画は。

⑤保育園に行っていない子の施策は。

中村子供すこやか部長 ①市立保育所完全給食化事業、かすがい東保育所民営化事業、私立保育所等施設整備事業の3事業。

②61億8、627万円、一般会計の歳出決算総額に占める割合15・3%。

③52億3、041万円、当初予算に占める割合13・5%。

④必要機能を効率的に維持。令和5年度はかすがい東保育所、令和9年度は石和第五保育所を民営化予定。

⑤保健師が妊婦期から関わり、地域子育て支援センター、ファミリーサポートなど、行政サービスを紹介。

問 個別避難計画(暫定版)の活用は

河野議員 ①数の推移と進め方は。

②災害発生時の活用方法は。

③地区防災計画との連携は。

問 廃棄物減量化、資源化、適正処理の現状は

答 ごみ袋の減額・規格の増加は概ね好評

民・事業者の評価と今後の課題は。

②第3弾の経済対策の事業計画は。

答 必要に応じ支援策を検討する

小宮山産業観光部長 ①第1弾は令和3年6〜8月まで実施、利用者数33万1千人、決済総額19億円、登録店舗数は800件以上。消費喚起に伴う地域経済の活性化、非接触型決済の促進に寄与できた。

第2弾は、4カ月間実施し、商品券交付対象者に対する交付率99・2%、取扱店舗792店、6億7、596万円で換金率98・39%。市民生活の応援・事業者支援ができた。

②国や県の動向を注視し、必要に応じ地域経済の支援策を検討する。



答 要支援者の把握等に活用

西海保健福祉部長 ①2、715人が登録済。避難支援等関係者などの協力を得ながら、確定版の作成を進める。

②迅速な避難支援、避難所での安否確認等に活用。

③地区防災計画には、要配慮者および避難行動要支援者の把握、区独自の要支援者台帳の整備を定めている。

④避難行動要支援者名簿を整備し、把握している。

⑤要支援者台帳に登録していない方には登録を促していく。

⑥登録者ごとに避難施設、避難方法に配布完了予定。



中川秀哉議員
(公明党)

中川秀哉議員 ①市民の評価、審議会・区長会・環境推進委員会の評価、商工会やJA、小売店の評価は。

②加入世帯数、未加入世帯数の推移、衛生管理指導の現状は。

③高齢者支援事業利用希望者に、公費助成導入を求める。

④24時間ステーション早期導入を。

雨宮市民環境部長 ①市民には概ね好評。袋の規格が増え利便性も向上。

②広報紙の配付数から、加入23、836世帯、未加入6、148世帯、加入率79・5%。各集積所の詳細ルールは区長、環境指導員等が指導。

③ワンコインサービス利用者の補助は考えていない。新たな取り組みを検討。

④地域の理解と協力が前提。課題を検討し、慎重に研究していく。

問 市単独経済対策推進を

中川議員 最大30%が戻るキャンペーンや、商品券事業は希望の光となった。市民・事業者支援を求める。

①第1弾、第2弾の事業に対する市





山田宏司議員
(清心会)

問 不妊治療支援事業は

答 広報紙・HPで周知

山田宏司議員 令和4年4月に保健福祉部から「子供すこやか部」が分離独立し、新しい組織が創設された。子育て世代の手厚い助成や、支援・相談できる体制は少子化対策として、市の人口増加への重要な施策だ。
①令和4年度より不妊治療が保険適用となった。市の支援内容に変更等があるのか、支援条件や内容を伺う。
②不妊治療の種類、治療にかかる費用は。
③不妊治療支援申請数の件数、令和元年度、2年度、3年度の実績は。
④不妊治療支援事業の令和4年度歳出予算額は。
⑤支援の周知徹底、内容の充実と事業費増額は。
中村子供すこやか部長 ①笛吹市不妊治療費支援事業補助金交付要綱に基づき、その治療に要する費用の一部を補助、交付回数は年度2回、通算5年を限度。補助金申請の時点で戸籍上の夫婦として1年以上継続し、住民基本台帳に登録されていること、市税等の滞納がないこと、治療期間終了から1年以内の申請等が条件。

②タイミング療法や人工授精などの一般不妊治療と体外受精、顕微授精および男性不妊治療などの特定不妊治療の2種類。タイミング療法が5千円未満、人工授精が1万円以上2万円未満、体外受精が30万円以上40万円未満、顕微授精が50万円以上60万円未満、男性不妊治療が5万円未満。
③申請件数は令和元年度が109件、2年度が116件、3年度が142件。
④歳出予算額は、1、008万円を計上。
⑤支援事業は引き続き、市の広報紙やホームページを活用し周知に努める。不妊治療支援は、令和4年度から有効性や安全性が確認された不妊治療が保険適用になったこと等を踏まえ、必要な予算額を確保していく。



岡 由子議員
(無党派)

問 女性農業者支援は

答 今後も農業塾の取り組みを推進

岡由子議員 基幹的農業従事者の男女割合は、女性が54万人・40%。
①地域農業政策・方針決定過程での参画推進の具体的な取り組みは。
②農業の家族経営協定に対する現状、協定数を増やすための取り組みは。
③女性農業者が働きやすい環境整備に向け、具体的な取り組みは。
④経営参画の推進の取り組みは。
小宮山産業観光部長 ①女性農業者のリーダーを育成するセミナーを活用するなど、女性の参画を推進していく。
②現在66件の協定が締結。希望者には協定書の作成を支援している。
③家族間で役割分担し、就業条件など取り決める家族経営協定が有効。
④女性農業者の栽培技術向上は、農業経営の参画につながる。引き続き農業塾の取り組みを推進していく。

いつから実施されているか。
③公費負担の周知方法・申請方法は。
④過去3年の受診者数の割合は。
⑤新生児聴覚検査の取り組みは。
中村子供すこやか部長 ①全ての妊婦に対し、検査の目的・時期・方法を説明。
②平成30年度から検査費用の一部3、000円を公費負担。
③母子健康手帳の交付時および妊婦の転入手続き時に案内。事務委託先の県市長会を通じ助成するので、申請の必要なし。
④令和元年度は462人、2年度は454人、3年度は494人が受診。
⑤新生児聴覚検査の受診勧奨を行い、保護者の指導援助に努めていく。



一般質問

問 新生児聴覚検査の実施は

岡議員

①新生児聴覚検査の目的や検査方法についての周知啓発は。
②新生児聴覚検査の公費一部負担は

総務常任委員会

委員長	神宮司正人	副委員長	河野 正博
委員	神澤 敏美	荻野 謙一	
	中川 秀哉	渡辺 正秀	

9月16日、20～22日、26日の5日間、委員会を開催。付託された条例の一部改正3件、令和4年度一般会計補正予算2件、令和3年度一般会計歳入歳出決算認定1件、普通財産の譲与1件、動産の取得2件の計9件を審査し、賛成全員7件、賛成多数2件で原案の通り可決・認定すべきものと決した。おもな質疑答弁は次の通り。

〈総務部所管〉

- Q** 危機管理アドバイザーの職務とは何か。
- A** 危機管理、職員の非違行為、地域防災計画等に関し、指導・助言をいただくと、まず職員のコンプライアンス向上についての研修を考えている。
- Q** 報酬はどうか。
- A** 1回ごとの報酬で、今年度は6回を予定している。
- 【意見】**
よく検討して運用してほしい。
- Q** 災害対策総務費、災害対策事業、防災備蓄倉庫整備事業について、防災備蓄倉庫を設置した指定避難所の説明を求める。
- A** 富士見小に防災備蓄倉庫として2棟、八代総合会館に1棟、若彦路ふれあいスポーツ館に3棟である。
- Q** 収納する備品は。
- A** 備蓄品は、令和4年度の予算で購入する。
- Q** 他の指定避難所の防災備蓄倉庫の整備計画は。
- A** 令和4年、5年度で25カ所の指定避難所に、合計47棟の整備を行う。

〈総合政策部所管〉

- Q** ふるさと納税事業、役務費の広告料および委託料のメールマガジン配信業務委託は、当初予算ではなく補正予算での対応となったが、説明を求める。
- A** 今年度8月末時点で、約15億9千万円、前年度比約1・6倍となっている。今年度はさらに寄附者の獲得、寄附額の増額を目指し、寄附が集まる年末に向け、富裕層向け広告、メールマガジン、検索連動型広告を実施していくため補正をお願いするもの。
- 【意見】**
重要な事業なので、広告・PR等をさらに進めてもらいたい。
- Q** 業務効率化事業の委託料で、業者選定、目的、今後の取り組みについて説明を求める。
- A** 業者は3社によるプロポーザルによって選定した。目的は、業務量や業務手順を客観的に分析することで、適正な職員配置やICTの活用による業務の効率化を目指していく。今後の取り

組みは、業務分析結果に基づいて各課が作成した業務改善計画書により、業務改善を進めていく。

〈市民環境部所管〉

- Q** 通学路整備に係る工事請負費で、通学路にグリーンベルトを敷設したが、その整備箇所と総延長は。
- A** 令和3年度は、2工事を一宮地内で行い、総延長

は1、173mであった。

〈消防本部所管〉

- Q** 年間の119番回線の件数は。
- A** 昨年は4、984件の入電があった。
- 【意見】**
今後も隊員の負担の軽減について、指令センターの共同運営等、さまざまな工夫を考えてもらいたい。



委員会審査

教育厚生常任委員会

委員長	武川 則幸	副委員長	河野 智子
委員	保坂 利定	古屋 始芳	
	野澤今朝幸	渡辺 清美	

9月16日、20～22日、26日の5日間、委員会を開催。付託された条例の一部改正1件、令和4年度一般会計補正予算2件、令和4年度特別会計補正予算5件、令和3年度一般会計歳入歳出決算認定1件、特別会計歳入歳出決算認定5件の計14件を審査し、賛成全員9件、賛成多数5件で原案の通り可決・認定すべきものと決した。おもな質疑答弁は次の通り。

〈子供すこやか部所管〉

Q 市立保育所を民営化することによる笛吹市のメリットは。

A 私立保育所へ移管することで、国庫負担金等が交付されるようになり、市の財政負担が軽減される。

Q 軽減される費用の具体例は。

A 今後予想される施設改修費用や、人件費等があげられる。

Q 病児保育開設支援事業「病児・病後児保育所」「そらいろ」について、この執行状況は、子どもが元気でいることの表れだと思いが利用できる子どもの病気等は、どの程度を想定しているか。

A 一時的に集団保育ができない程度の風邪やケガで治療が長期的になるようなものは想定していない。

Q 市内の全図書館の合計蔵書数と、購入する書籍の選定基準は。

A 全蔵書数は、令和4年3月現在で481、141冊。また、書籍購入は、資料選定および廃棄の内部規

〈保健福祉部所管〉

Q 特殊詐欺対策アダプタ取付費用補助事業について、どのように特殊詐欺の電話



委員会審査

定に基づき選定し、週1回開かれる司書の会議に諮り、市民からのリクエストを加味し、最終的に購入する書籍の決定をする。

Q 特殊詐欺対策アダプタ取付費用補助事業について、どのように特殊詐欺の電話

〈保健福祉部所管〉

Q 特殊詐欺対策アダプタ取付費用補助事業について、

どのように特殊詐欺の電話

の事業を行っていることを市民に周知することで、犯罪の抑止にも繋がる。

〈市民環境部所管〉

Q 保険給付費 出産育児一時金の執行状況について、出産率の減少により、給付の執行率も減っていく傾向は理解できるが、国民健康保険課として出産育児一時金の増額を検討する考えはあるか。

A 県内他市町村の国民健康保険の出産育児一時金も、本市と同額の原則42万円を限度額としている。現在の国のほうで増額の動きがあるが、それに伴い医療機関が医療費を増額する事も懸念される。他自治体では子育て支援の政策として、出産育児一時金とは別に出産祝い金等、別の給付を行っている例もある。

【意見】

出生率や将来的な税収の向上という観点からも、若い世代が出産育児も含め、生活しやすくなるような手立てをぜひ講じてほしい。

建設経済常任委員会

委員長	小林 始	副委員長	山田 宏司
委員	岡 由子	落合 俊美	
	中村 正彦	海野利比古	
	前島 敏彦		

9月16日、20～22日、26日の5日間、委員会を開催。付託された条例の一部改正1件、令和4年度一般会計補正予算2件、特別会計補正予算11件、令和3年度一般会計歳入歳出決算認定1件ほか31件を審査し、いずれも原案のとおり可決・認定すべきものと決した。おもな質疑答弁は次のとおり。

〈産業観光部所管〉

Q 担い手対策事業費農業経営発展支援事業の補助金は1年で終わるか、それとも何年か継続する条件があるのか。また、農産物は収穫までに一定期間かかる収入がない期間はどうか。

A 施設整備や機械購入を補助対象とする場合は、その年のみとなる。また、新

規就農者対策で、農業収入が見込めない期間の支援については、別の支援制度がある。

Q 笛吹みんなの広場および桜温泉通り賑わい創出事業で、イルミネーションリース料の増額補正と、いつまでに設置する予定か。

A 増額は急激な円安等によるもの、設置は12月上旬から始め12月23日に点灯を

実施する。

Q 商工関係団体補助費のうち、商工会へ委託している、創業支援事業ワンストップ窓口業務委託は何件の相談があり、どのような業種で創業したのか。

A 令和3年度は41件の相談があり、内容は経営支援の計画・販路の開拓で、実際に創業した9件は、焼き菓子製造業、ファッショ雑貨、イベント開催業、プロデュース業、キッチンカー、飲食店、卸売業など多種多様な業種にわたる。

Q ふれあい農園は市内に何か所あるのか、すべての区画が利用されているのか。

A 市内に3カ所あり、石和地区に2カ所、八代地区に1カ所で、石和はすべて利用されており、八代は46区画のうち10区画が開いている状況。

〈建設部所管〉

Q 使用料は他のキャンプ場を参考にしたとのことだが、民間も参考にして使用料を決めたのか。

A 県内の公営および民間

で運営している、オートキャンプ場5つの施設を参考に検討し、市内キャンプ場とのバランスを考慮し決定した。

Q 空き家等対策推進事業で、緊急安全措置として2件解体とのことだが、解体費用は所有者に請求するか。

A 所有者に請求することになるが、公共の場所で倒壊等により、生命・身体に被害が及ぶ予見がされる空き家は、調査段階で所有者が特定できない場合、緊急対応として解体している。

〈公営企業部所管〉

Q 資本的支出、建設改良費、水道建設費委託料は、予算額に対し執行率が低い。他に委託を予定していたのか。

A 砂原配水場が山梨新環状道路の計画路線で、基本設計は終わっているが、詳細設計を委託したもので、前払い金以外は繰り越しとなっているため、執行率が低い要因となっている。



市道1624号線道路認定現地確認

人事

人権擁護委員の候補者の推薦

網倉 基充【再任】（石和町市部）
任期 令和5年4月1日から3年間

固定資産評価審査委員会委員の選任

鈴木 治喜【新任】（御坂町尾山）
芦澤 栄【再任】（春日居町別田）
中川 雅美【新任】（石和町中川）
任期 令和4年11月30日から3年間

監査委員の選任

曾根 哲哉【新任】（石和町唐柏）
蒔田 峰雄【新任】（境川町前間田）
任期 令和4年10月1日から4年間

公平委員会委員の選任

加藤 啓【新任】（御坂町尾山）
任期 令和4年10月1日から4年間

笛吹市議会広報編集委員会より

～ありがとうございました～



令和2年11月14日より、第5期議員の中から選出された委員により笛吹市議会広報編集委員会を構成し、【議会だより65号】から編集を行ってまいりました。笛吹市議会では任期4年の中の2年目において各委員会の委員の構成を変える改選を行っております。現在の委員で編集作業を行うのは【議会だより72号】が最後となります。

- 委員長** 河野 智子
- 副委員長** 岡 由子
- 委員** 渡辺 正秀 武川 則幸
落合 俊美 河野 正博
- 議長** 保坂 利定
（笛吹市議会だより発行に関する
条例第8条3項によりオブザーバー
として編集委員会へ参加）





コロナ感染が 地域交流を分断



八代町増田
丹澤 節子

新型コロナウイルスは一向に終息しない。地域での交流事業は消えた。「地域で自主的に介護予防を実践し

よう」と保健師の指導のもと、平成24年から農閑期を利用し、週一回増田コミュニティセンターで開始。60歳から90歳くらいまでの12〜13人が集まった。シルバー体操教室で教わったストレッチ、脳トレ、百歳体操等、いきいきと楽しく良き仲間にも恵まれ、感謝の交流だった。それが中止となり久しい。寂しく残念な気持ちだ。

今は人との距離が遠くなった。コロナ対策は万全だが、自粛の影響で要介護者増加が懸念される。

継続は力なり



石和町上平井
早川真金

太極拳は中国武術です。私にとって、健康太極拳です。リラックスして呼吸と動作が一致すると、とても気持ちが良いものです。この素晴らしさを

伝えたいと思い、下平井「やまぶき太極拳」サークルで活動をしています。また、さまざまな大会にも出場しています。自分の体は自分で作るを目標に薬に頼らない免疫力づくりには太極拳を役立てています。

太極拳を始めてから20数年、「継続は力なり」をモットーに太極拳を続けています。これからも楽しい仲間づくりをしながらがんばっていきます。いつでも見学に来てください。大歓迎です。

編集後記

コロナ禍で、マスクを付けた日常が普通の光景になりました。友人の顔は、記憶の中とマスクを付けた顔との印象の違いで、違和感を覚えることさえあります。

世界保健機関のテドロス事務局長はこのパンデミックは、「終焉が視野にはいつている」と明言しました。もちろん、気を緩めてはならないものもの当たり前の日常がもうすぐそこまできているのです。当たり前の日常に戻れると信じたいです。

大人にとっても大変でしたが、成長期の子どもにとっては、この3年余りはつらいものだったでしょう。学校行事は中止となり、大切な思い出を残せない日々を経験しました。

誰もが感じたことは、なんでもない日常が一番大切であり、対面で笑顔で話ができることがどれほど幸せかということです。

改めて、議会は市民のそんな幸せのためにできることを進める場であると感じました。市民の笑顔のために歩みます。

議会広報編集委員会
委員 岡 由子

表紙説明

文化・スポーツの秋
笛吹高校
クラブ活動風景